



穴部・国府津線の
発掘調査成果速報！

小田原市 272 遺跡
現地見学会資料
(下堀道上町)

中世の区画溝を発見！

小田原市 272 遺跡の発掘調査

下堀地区に所在する 272 遺跡は、小田原土木事務所による都市計画道路 穴部・国府津線街路事業に伴う埋蔵文化財の記録保存として、発掘調査を実施しています。

調査区は、中世の屋敷地と言われている下堀方形居館の西側に約 300m 離れた位置にあたります。

今回の調査によって、この居館とほぼ同じ頃の溝が多数発見され、そのほとんどは規則的につくられていることがわかりました。

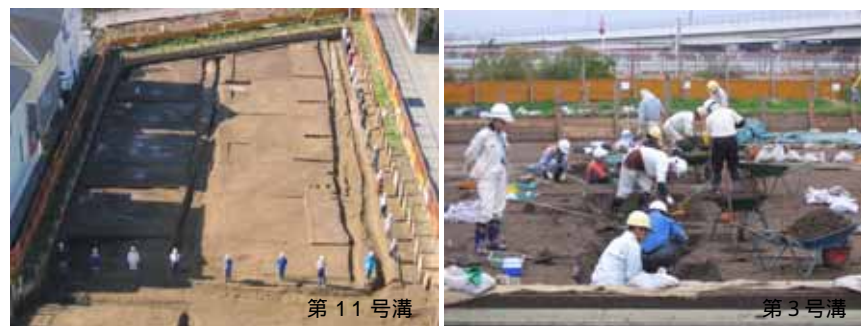
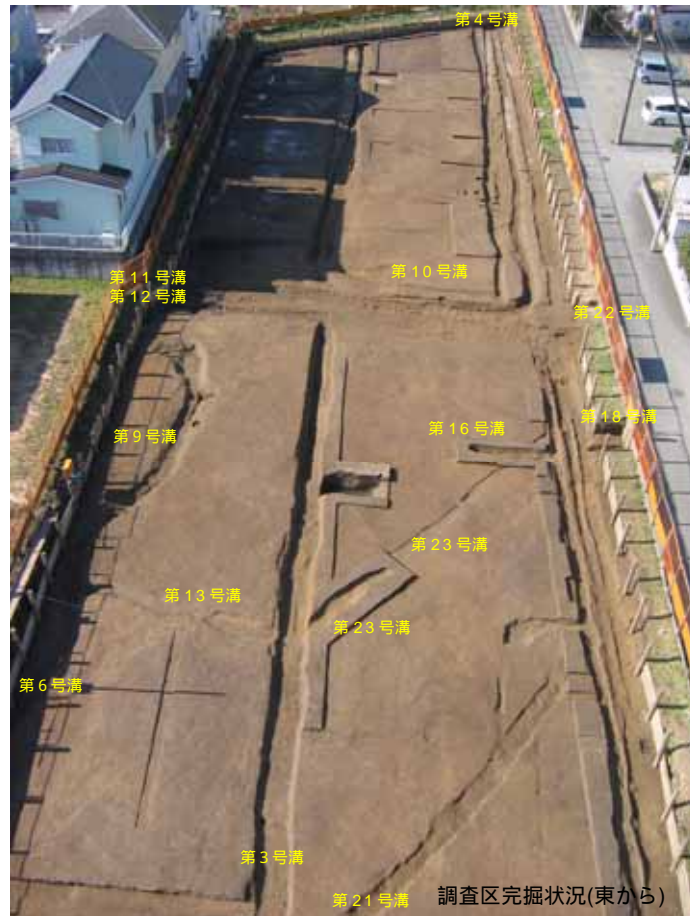
発見された遺構などは、方形居館とその西側で発見された建物群などとあわせて捉えていく必要があり、周辺の土地利用の変遷を検討するうえでの重要な成果を得ることができました。

調査で得られた成果は、今後の出土品整理や分析を経て発掘調査報告書として刊行し、正式に公開されます。

これら先人達の足跡を、郷土小田原の歴史を探る資料として、活用して頂ければ幸いです。



財団法人 かながわ考古学財団



調査区完掘状況(北西から)



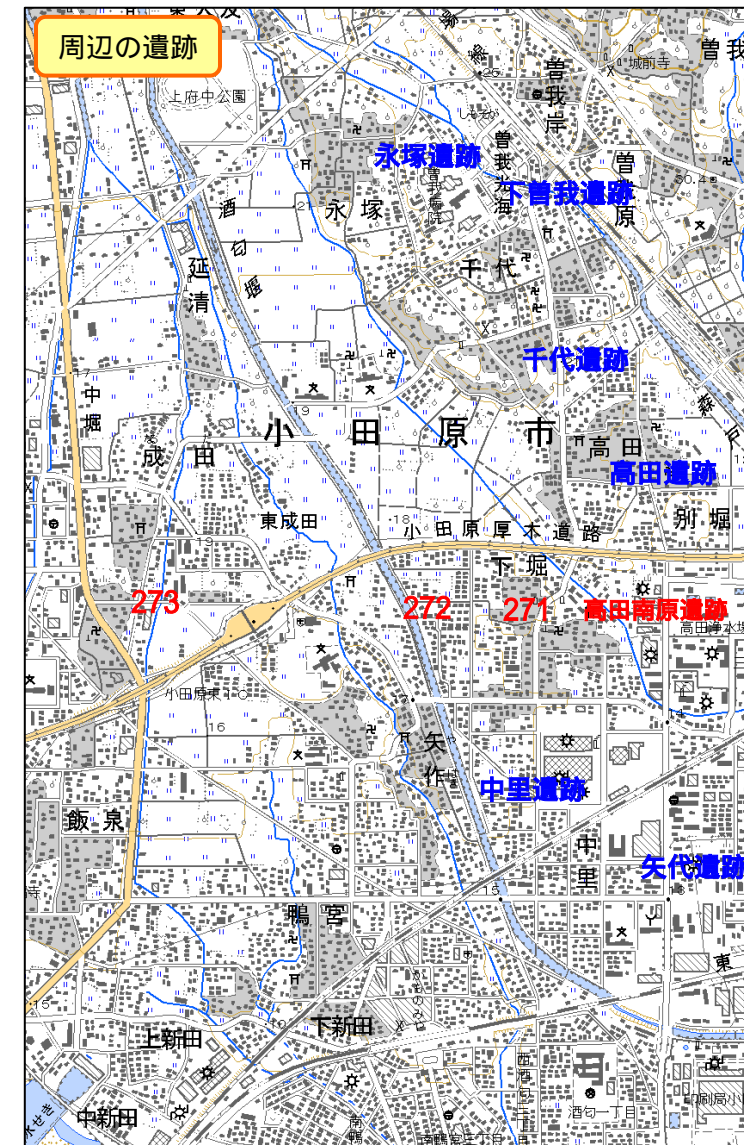
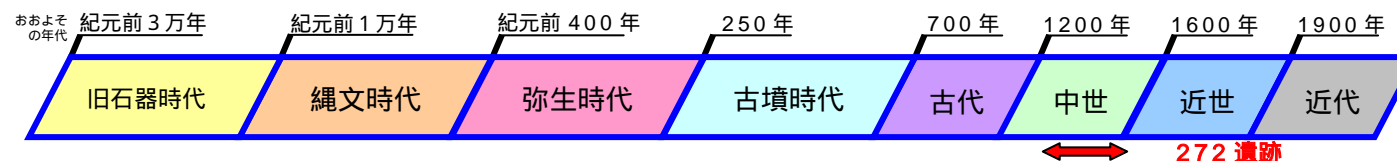
調査区完掘状況(北東から)

下堀 272 遺跡の調査では、溝が多数発見されています。これらは、東西方向・南北方向・斜方向など規則的な向きでつくられているものと蛇行するなど不規則に曲がっているものがあります。また重複関係から新しい段階と古い段階のものがあり、ある程度の時間幅を考えることができます。

溝からの出土遺物は、中世の陶器や磁器のほか、拳大の礫がまとまって出土する部分も認められました。

出土遺物が少ないことなどから溝の具体的な時期や機能は断定できませんが、水田や畑などの用水路や土地の区画溝としての用途が考えられます。

下堀方形居館と同じ軸線であることから、居館を中心に周辺一帯は整然と地割りされ利用していたことが判ります。



周辺には、千代遺跡(縄文～古代)・中里遺跡(弥生)・三ツ俣遺跡(弥生～近世)など神奈川県を代表する各時代の著名な遺跡が多数所在します。

今回の調査成果は、271 遺跡や高田南原遺跡など周辺の遺跡とあわせて分析していく必要があります。



発見された遺構は、写真や測量などの記録をとります。

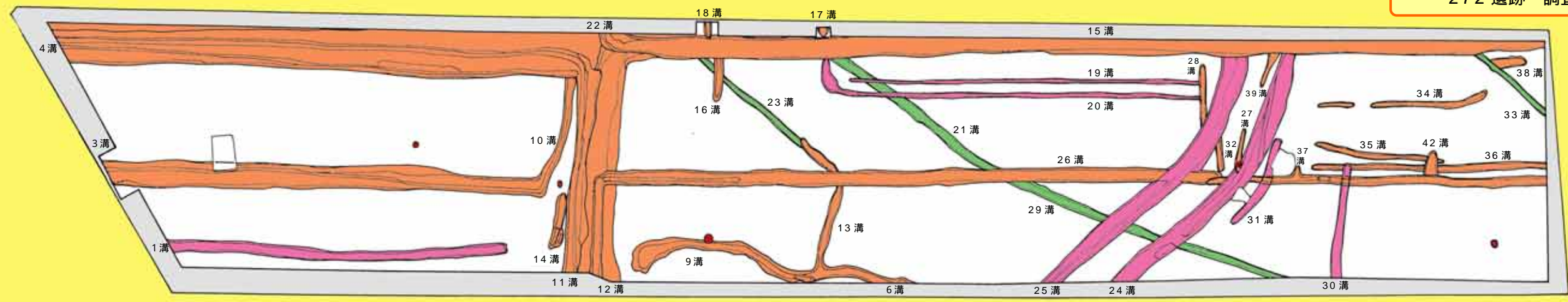
遺構は土層観察帯を設定し、覆土の堆積状況を記録します。

測量・記録作業



穴部・国府津線の発掘調査成果速報
小田原市 272 遺跡 現地見学会資料
2007.3.24
財団法人 かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
045-252-8689

272 遺跡 調査区全体図



凡例

- 新段階の溝
- 中段階の溝
- 古段階の溝
- ピット
- 攪乱



遺構番号などの呼称や遺構の時期などは調査終了時点のものであり、出土品整理の結果、正式な報告書で評価を変える場合があります。一部の遺構は表記していません。



〔第11号溝〕 屈曲部付近では、溝に流れ込むよう壁際に拳大の礫が3,500点ほど密集して出土していますが、礫の用途や機能は明かではありません。陶器が数点含まれていることから中世に廃棄された礫であることが判ります。



〔第24号溝〕 穴があいた土製品が出土しています。糸を紡ぐときに使うはずみ車である紡錘車と考えられます。
 〔第30号溝〕 磁器破片(青磁の碗)が出土しています。中国から輸入されてきた当時はたいへん貴重なものです。

今回の調査では東西軸や南北軸に走る溝が主体的に発見されました。断面形を見ると、U字状・逆台形など幾つかの種類があり、時期の違いや用途・機能の違いなどを示しているものと考えられます。
 〔第4号溝〕 詳しく見ると、同じような場所に何回も溝がつけられ、合計5条の溝が重なっていることが判りました。さらに上面には第2号溝が重なって発見されています。中世以降、同じような場所に連続して溝がつけられています。
 〔第20号溝〕 第19号溝と1mほど間隔を空けて併行する溝です。第20号溝の底面には小さな凹みが連続して認められました。この凹みはおそらく溝を掘るときに使った鍬などが地面に突き刺さった痕跡と思われるものです。
 〔第17号溝〕 第15号溝と直行するよう重複する位置関係にあります。大半が調査区外へ展開しているため全体は不明です。土層からは、江戸時代頃には完全に埋まっていたことが判ります。底面からやや浮いた状態で礫が1点出土しています。



272 で発見された溝などの調査結果は、下堀方形居館と密接に関係するものです。271を含めて周辺一帯の土地利用を考えていく必要があります。

